

令和7年度 西蒲区社会福祉協議会社会福祉功労者感謝状贈呈式 西蒲区おれんじフォーラム 開催レポート

令和8年2月15日（日）13:30～16:00 西川多目的ホール

○目的

（感謝状贈呈式）西蒲区における民間社会福祉の増進に貢献し、著しい功労のあった個人あるいは団体に対し、その功績をたたえ感謝状を贈呈し、社会福祉事業の伸展にすることを目的とする。

（おれんじフォーラム）認知症の本人及びその家族が安心して相談できる環境づくりを目的とする。

○当日の参加者 約230名

（医療福祉関係者、民生委員児童委員、コミュニティ協議会、地区社会福祉協議会、行政機関、関心のある住民等）

○記念講演

「相談しやすい環境づくり」～認知症本人から伝えたい～

講師：認知症本人大使 丹野智文氏

○トークセッション登壇者

- ・ケアプランセンター白寿荘 主任介護支援専門員 丹羽朝江氏
- ・西蒲中央病院 地域連携相談室 課長 MSW 梅川望氏
- ・新潟市地域包括支援センター岩室 管理者 池田敦志氏
- ・コーディネーター ライフパートナーかくだ山 代表 岩崎典子氏

○参加者の感想（一部掲載）

- ・よかれと思って行うことが認知症当事者の方の自由を奪っていることに気づかされました。あらためて、人とのコミュニケーション、交流が何より大切だと感じました。
- ・認知症本人の意見を優先に考えたいと思った。どうしても御家族の意向が重視されているところがあったと反省させられた。相談し合える地域作りが重要である。
- ・認知症になっても周囲の人のかわりかたによってふつうの生活ができるんだとおもいました。今が大切だという言葉が心にのこります。
- ・気づきが多く、相談業務をしていると偏った知識ややり方になってしまったので反省しました。

